

集会決議

四国電力伊方原発3号機について、原子力規制委員会は審査に「合格」したとし、伊方町議会と愛媛県議会では再稼働を認める決議をあげ、さらに、中村時広愛媛県知事は県民の声を聴かずに再稼働に同意しました。しかし、私たちは再稼働に断固反対いたします。

原発再稼働は、人間の知性と倫理の墮落です。原発を再稼働させる必要は全くありません。嘘を並べての再稼働の推進です。原発は安全であるというのは、嘘です。電気が足りないというのは、嘘です。原発は安いというのは、嘘です。避難はできるというのは、嘘です。このように嘘で固めた理由で、原発を再稼働させることは、まさにモラル・ハザードです。

原発の再稼働は、拝金主義・棄民主義・無責任主義です。「いのちよりもお金」丸出しです。目先のお金のためには、いのちまで差し出す守銭奴の愚かさです。これは拝金主義です。そして、原発再稼働は住民を捨てるのが前提です。新規制基準に住民避難はありません。原発再稼働と住民避難はリンクしないと為政者は公然と述べています。これは棄民主義です。さらに事故が起きても誰も責任を取りません。東京電力福島第一原発事故では、誰も責任を取っていません。安倍晋三首相が口先で、重大事故が起きた際に「責任を持って対処する」と述べても、実際には責任の取りようがないのです。これは無責任主義のきわみです。

原発は安全ではありません。福島の実状を見て、原発が安全であるとだれも思いません。安全の担保はありません。原発が再稼働すれば、生活が根こそぎ奪われ、故郷が喪失し、瀬戸内海が死の海になるという不安が、いつもつきまといまいます。人間は放射能を制御できません。原発と人類は共存できません。

再稼働推進という国策に、私たちは毅然と立ち向かい、伊方原発3号機の再稼働阻止のために、全力で闘うことを決議します。

2015年11月1日